

栄町遺跡…石背（岩瀬）郡の役所

須賀川駅の南側にあります。石背郡の郡役所の跡で、政治を行った建物や広場などが発見されました。

また、出土した土器に「石瀬」と墨で書かれたものもあり、当時の文献にある石瀬郡が実際に使われていたことが証明されました。遺跡のあったところにモニュメントが立っています。



栄町遺跡・郡役所跡
(平成 16・17 年 発掘調査全景)



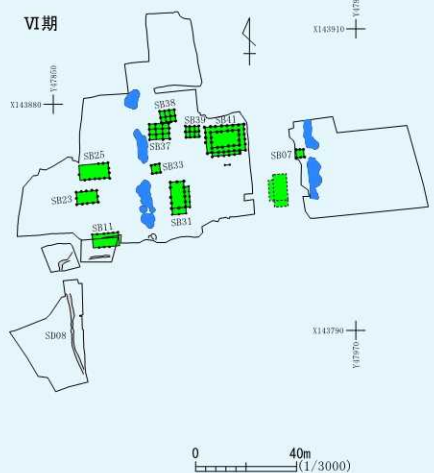
出土遺物（方形皿）



「石瀬」墨書土器



8 世紀前半の栄町遺跡



9 世紀の栄町遺跡

米山寺跡・米山寺経塚群（国史跡） …奈良・平安時代の寺跡、経塚

須賀川駅から西に 900m の地点にあります。米山寺跡は講堂や薬師堂跡、倉庫跡、厨跡などからなる奈良・平安時代の寺院跡と考えられており、土器類や瓦などが出土しています。上人壇廃寺跡とは性格の異なる、当時の豪族が営んだ寺院跡です。米山寺経塚群は平安時代末期（12 世紀代）のお経を埋めた塚です。お経を入れた経筒とよばれる銅製の筒やそれを保護した陶器、さらには常滑焼や珠洲焼と呼ばれる壺が出土しています。

同じ時期に同じ施主が埋めた塚が同じ中通り地方の桑折町と福島市にあることが分かっており、全国でも珍しい経塚です。



米山寺経塚
出土経筒（左側）と外容器（右側）



米山寺経塚



米山寺跡と米山寺経塚
(昭和 47 年撮影)



米山寺跡・米山寺経塚



須賀川駅周辺の古代遺跡ガイド

現在の須賀川市を含む岩瀬郡一帯は、奈良・平安時代には石背郡（石瀬郡）と呼ばれていました。その中心部が現在の須賀川駅周辺で、郡の役所や郡付属の寺院、官人（役人）の集落などがありました。また、奈良時代に一時石背国が陸奥国（現在の東北地方）から独立した時期があり、その石背国の中心でもありました。

上人壇廃寺跡（国史跡）…石背（岩瀬）郡付属の寺跡

須賀川駅の北側、須賀川第二中学校の近くにあります。奈良・平安時代の石背郡付属の寺跡で、国の史跡に指定されています。

発掘調査の結果、一辺 75m の範囲に 南門、小金堂、講堂が 一列に並ぶ全国的に珍しい伽藍配置（寺院の配置）で、寺院に用いた瓦や土器類などのほか、瓦塔（焼き物の塔）や金鼓（鉦鼓：雅楽などで用いる鉦）、精巧な装飾を施したお経の軸止めなどが出土しています。



上人壇廃寺跡
(平成 20 年 発掘調査全景)



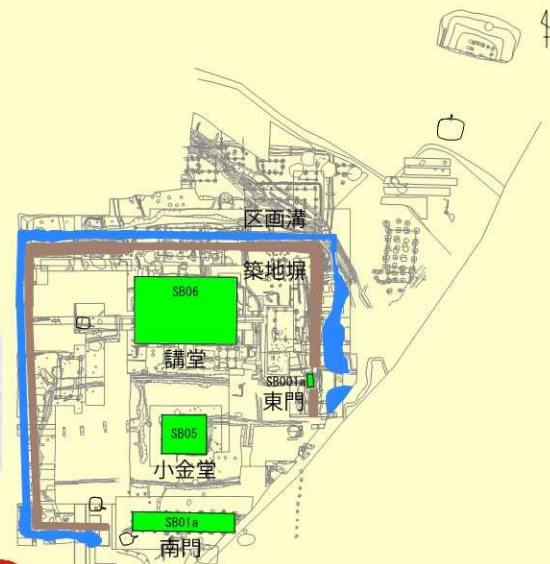
出土瓦塔・瓦



出土金鼓（鉦鼓）



出土経軸端



第Ⅱ期
創建期（8 世紀前半）の上人壇廃寺跡

うまや遺跡…官人（役人）の集落

須賀川駅の北東側にあります。上人壇廃寺跡や栄町遺跡に仕える人たちが実際に住んでいた、現代でいう団地と考えられます。住居跡からは和同開珎という希少な銭貨が土器に入った状態で出土しています。

また、土器などは現在の関東地方の影響を受けた土器や関東地方から持ってきた土器などが含まれることから、当時の交流の一端を示すことができます。



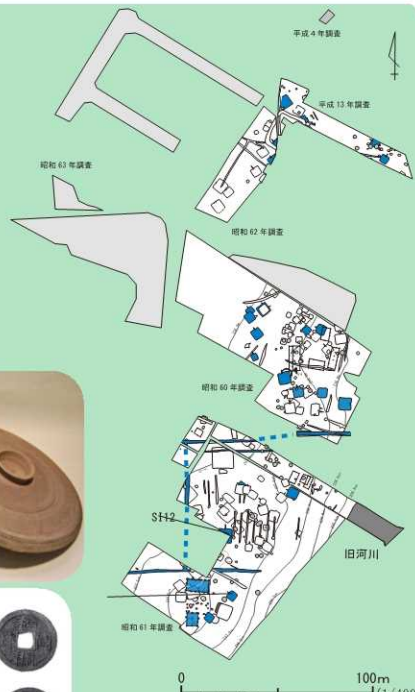
うまや遺跡
(昭和 61 年 発掘調査全景)



竪穴建物（住居）跡出土土器



出土須恵器と和同開珎



うまや遺跡の全体図

北

